

高城中学校だより

令和6年4月23日（火）校長 飯干 裕二

本校2年目の校長の飯干裕二（いいほし ゆうじ）です。よろしくお願ひいたします。

いよいよ令和6年度が始まりました。4月9日（火）の入学式で85名の1年生を迎え、全校生徒245名（2年生76名、3年生84名）で高城中がスタートします。

高城中は、前年度までの実績を受け継ぎ、今年度も更なる充実を図ってまいります。高城中の教育目標は「自立 貢献」《夢に向かって最善を尽くし、社会に貢献できる自立した人間であれ》です。どうぞよろしくお願ひいたします。

どうぞよろしくお願ひいたします

今年度、新たに5名の職員が高城中学校に赴任及び配置となりました。新任式では、生徒会の紺家一吹さんから温かい歓迎のことばをいただきました。多くの皆さんからご支援をいただきながら頑張ってまいります。

- 上井 早苗 先生 ※妻ヶ丘中より ○久保田 裕一朗 専門主事 ※西中より
- 外山 武志 先生 ※串間市立秋山小より
- 笛 愛子 特別支援教育支援員 ※本年度より配置
- 関谷 美智代 図書館サポーター ※毎週木・金来校予定

生徒の皆さんに伝えたこと

始業式での校長の話及び入学式の式辞にて私の願いを伝えました。どちらとも同じ内容となります。ご一読ください幸いです。

皆さんに対する私の願いを、2つ程、話したいと思います。

1つ目は、「自立 感謝 貢献」のサイクルを意識した取組を行うことです。本校の教育目標は「自立 貢献」ですが、昨年度からそこに感謝を入れ、「自立 感謝 貢献」

のサイクルを展開してきました。具体的に申しますと、

先ず、「自立」です。自立とは、「自ら考え 判断し 行動する・相手に伝える」ということです。私はこれを、今必要とされている、プレゼン能力と捉えています。

次に「感謝」です。自立を行う上で、必ず一人では解決できない困難に遭遇します。その時は、一人では抱え込みます、人に相談するなど、他者に依存してください。そうするとそこに感謝が生まれます。

最後に「貢献」です。感謝が生まれたら、次に困っている人や地域のために、できるだけ貢献してください。

皆さんは、保護者の方々はもちろんのこと、地域の方々からも、かけがえのない大切な存在であることを忘れてはいけません。本年度は、さらに深化した「地域貢献」を推進していきましょう。

2つ目は、全ての自分を受け入れること、自己肯定感を高めることです。自分というものは一つではありませんし、無理に一つにする必要はありません。先行き不透明で多様な時代だからこそ、多様な自分が必要かもしれません。特に思春期に入る皆さんは、本当の自分とは何かと思い悩み、時には自分が嫌いになることがあるかもしれません。でも、決して嫌いにならないでください。多様な自分が全て本当の自分なのです。当然、人を傷つけたり、人に迷惑をかける自分がいたら、改めてくださいね。

自分を受け入れることが、自己肯定感を高めることにつながります。

自己肯定感を高めることが、自分を大切にすることにつながります。

自分を大切にできなければ、人を大切にすることはできません。

どうぞ、このことを頭の片隅においていただければ幸いです。

第1回参観日、PTA総会お疲れさまでした

4月19日（金）に実施された、第1回参観日及びPTA総会へのご参加、誠にありがとうございます。特にPTA総会では、私からのお願いばかりで申し訳ありません。どうぞ、現在の学校教育界の危機的状況をご理解いただき、ご協力いただければ有難いです。

また、授業参観及び学級懇談等を通して、お気づきの点がございましたら、何なりと学校までご連絡ください。